CLD-103/108

字幕エラー監視システム

操作説明書

Ver.1.0



目 次

 1.1 システム構成図. 監視システム	
 監視システム	_
 2.1 メイン画面	
2.1.1 スタートボタン	
 2.1.2 メニューバー 2.1.3 監視状況 2.1.4 ログ表示 2.2 設定 2.2 設定	
2.1.3 監視状況 2.1.4 ログ表示 2.2 設定 2.2.1 起動時設定 2.2.2 時刻同期設定 2.2.3 ログ保存 2.2.4 IPアドレス・比較設定 2.2.5 エラーログクリック設定 2.2.6 Trap 送信先設定 2.2.7 テキスト読み上げ 2.2.8 アラーム表現設定 2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定	2
2.1.4 ログ表示	Ę
2.2 設定 2.2.1 起動時設定 2.2.2 時刻同期設定 2.2.3 ログ保存 2.2.4 I Pアドレス・比較設定 2.2.5 エラーログクリック設定 2.2.6 Trap 送信先設定 2.2.7 テキスト読み上げ 2.2.8 アラーム表現設定 2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定	
 2.2.1 起動時設定 2.2.2 時刻同期設定 2.2.3 ログ保存 2.2.4 IPアドレス・比較設定	٤
 2.2.2 時刻同期設定	8
 2.2.3 ログ保存 2.2.4 IPアドレス・比較設定	9
 2.2.4 IPアドレス・比較設定 2.2.5 エラーログクリック設定 2.2.6 Trap 送信先設定 2.2.7 テキスト読み上げ 2.2.8 アラーム表現設定 2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定 	
 2.2.5 エラーログクリック設定 2.2.6 Trap 送信先設定 2.2.7 テキスト読み上げ 2.2.8 アラーム表現設定 2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定 	
 2.2.6 Trap 送信先設定 2.2.7 テキスト読み上げ 2.2.8 アラーム表現設定 2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定 	1 5
 2.2.7 テキスト読み上げ 2.2.8 アラーム表現設定 2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定 	
2.2.8 アラーム表現設定 2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定	
2.2.9 しきい値・マスク値設定 2.2.10 音声モード比較除外設定	1 §
2.2.10 音声モード比較除外設定	
	3 ?
2.3 ログ操作・状況表示	
2.3.1 ログ検索	
2.3.2 ログ削除	
2.3.3 過去ログ時刻指定	
2.3.4 ラウドネス計測	
2.4 ハード情報参照	
2.4.1 バージョン情報	
2.4.2 状態参照	
2.4.3 マスク値参照	
2.4.4 しきい値参照	
2.4.5 測定値参照	
2.4.6 局間情報	44
2.4.7 CLD 時刻参照・設定	
2.4.8 比較設定参照	
2.4.9 音声モード比較除外設定参照	47
2.5 EPG表示	
2.6 リアルタイム字幕	
2.7 過去ログ画面	
28 リフトウェアバージョン情報	

本書は、CLD-103/108字幕エラー監視システム(以下、監視システム)の操作について説明するものです。

<u>1.1 システム構成図</u>



SNMP 通信
UDP/IP ソケット通信

監視システムの仕様	
ログ最大登録件数	50,000件
リアルタイム字幕表示数	100件
CLD 接続最大数	12台

2. 監視システム

2.1 メイン画面

	2 設定 00携	황作·状況表示 ハード情報	監視システム < <cld-108>> 参照</cld-108>	_ = ×
	✓ 監視状況 CH1	сн2 снз	СН4 СН5 СН6	СН7 СН8
		@ 以重新中		2975 / 2975
-		CLDNo CH名称		マスク(秒) 横知日時
-	2014/09/09 22:09:12	1	slot8	
. -	2014/09/09 22:09:12	1	子希 同期処理中[10.9.15.208] 京第 同期処理中[10.9.15.208]	
9	2014/09/09 22:09:12	1	子希 同期処理中[10.9.15.208] 京第 同期処理中[10.9.15.208]	
-	2014/09/09 22:09:12	1	子茶 回期処理中[10.9.15.208] 字幕 回期処理中[10.0.15.208]	
-	2014/09/09 22:09:12	1	- ナ本 回期処理中[10.9.15.208] 字算 同期処理中[10.0.15.208]	
-	2014/09/09 22:09:12	1	- ナ本 回期処理中[10.9.15.208] 字算 同期処理中[10.0.15.208]	
-	2014/09/09 22:09:12	1	字幕 同期処理中[10.9.15.209] 字幕 同期処理中[10.9.15.209]	+
-	2014/09/09 22:09:12	1	字幕 同期処理中[10.9.15.208]	
-	2014/09/09 22:09:12	1 CH1		1 2014/09/09 22:09:12
	2014/09/09 22:10:34	0	TPアドレス・比較設定変更	1 201 405/05 22/05/12
	2014/09/09 22:10:35	1	「「「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	
	2014/09/09 22:10:40	1 CH1	確認を行いました	
	2014/09/09 22:10:44	1 CH1	手動検知停止を行いました	
	2014/09/09 22:10:45	1 CH1	手動検知開始しました	
	2014/00/00 20.40.40	1 CH1	ビデオフレームレート比較 不一致	1 2014/09/09 22:10:46
-	2014/09/09 22:10:46			
-	2014/09/09 22:10:46	1 CH1	ビデオフレームレート比較 不一致 回復	0 2014/09/09 22:10:46

詳細については以下を参照してください。

- ① 2.1.1 スタートボタン
- 2 2.1.2 メニューバー
- ③ 2.1.3 監視状況
- ④ 2.1.4 ログ表示

2.1.1 スタートボタン

クリックすることで「ソフトウェアバージョン」項目が表示されます。 詳細は 2.5「ソフトウェアバージョン情報」を参照ください。 2.1.2 メニューバー

・クリックすることで各項目のメニューが表示されます。

メニューの内容については 2.2「設定」、2.3「ログ操作・状況表示」、2.4「ハード情報参照」 を参照ください。

G							•	x
	ジョン設定	ログ操作・状況表示	八一ド情報参照					
起	動時	IPアドレス・比較設定	テキスト読み上げ設定	しきい・マスク値設定	ラウドネス計測			_
時	刻同期	エラーログクリック設定	アラーム表現設定	音声モード比較除外設定	過去口グ時刻指定			-
02	り保存	Trap送信先設定						
		システム	アラーム通知	アラーム監視	時間指定			

 ・メニュー表示状態でメニューバーをダブルクリックすることで、メニューの下に ボタンが表示されます。

							x
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	こ ログ操作・状況表示	ハード情報参照					
起動時	IPアドレス・比較設定	テキスト読み上げ設定	しきい・マスク値設定	ラウドネス計測			
時刻同期	エラーログクリック設定	アラーム表現設定	音声モード比較除外設定	過去口グ時刻指定			
ログ保存	Trap送信先設定						
	972777	アラーム通知	アラーム監視	時間指定			
≫ 監視状況							
CH1	СН2	СНЗ	сн4 сн5	СН6	СН7	СН8	Ξ
							-

 ・メニュー及びボタン表示状態でメニューバーをダブルクリックすることで、メニューが 非表示になります。

									x
W	設定	ログ操作・状況表示	八一ド情報参照						
≫ 監約	見状況								-
	CH1	СН2	СНЗ	СН4	СН5	СН6	СН	СН8	Ξ
									Ŧ

2.1.3 監視状況

「IP アドレス・比較設定」にて設定を行なった比較番号の監視状況が表示されます。

≫ 監視状況	
СН1 СН2 СН3 СН4 СН5 СН6 СН7 СН7	СН8
	-

≫ 監視状況

をクリックする事でエラー確認ボタンを非表示にすることが可能です。

監視システム < <cld-108>> _ □ × 設定 □グ操作・状況表示 ハード情報参照 N 単複状況</cld-108>
□ / J/J/J/J/2
(1)エラー状況表示及び確認動作
エラー状況をエラー内容に対応したボタン色変化よって表示します。
 ・正常状態では CH1 と表示されます
・エラー状態では CH1 に点滅表示されます。
・ボタンをクリック(確認動作)することで点滅は止まり、 CH1 と
表示されます。
この状態でエラーが回復すると
・エラー状態からボタンをクリック(確認動作)せずにエラーが全て回復した場合は
CH1 と表示されます。
この状態でボタンをクリック(確認動作)すると

・エラー状態ではボタン上にマウスを移動するとエラー発生状況が表示されます。

СН1	CH2
- エラー状態 -	TE
ビデオフレームレート比較 字幕有無比較 不一致	个一致

(2)接続状況表示

CLD との通信が切断された場合、システムエラーが発生している場合は

(3)メニュー

チャンネルを右クリックする事でメニューが表示されます。



①検知停止メニュー

「検知停止」をクリックする事でエラー検知を停止する事が出来ます。 検知停止中はボタン上に表示されます。

検知開始するには、検知停止中のボタン上で右クリックし、表示される「検知開始」を クリックします。



②EPG 表示メニュー

2.5「EPG 表示」を参照ください。

③リアルタイム字幕表示メニュー

2.6「リアルタイム字幕表示」を参照ください。

(4)番組名表示

EPG データが存在する場合は比較名称の下に現在放送中の番組名が表示されます。 番組名が8文字以上の場合は、番組名の先頭8文字が表示されます。



2.1.4 ログ表示

・各エラー、各イベントの発生日時と内容を表示します。

	000	グ更新中			1701 / 1707	
	CLDNo	CH名称		マスク(秒) 検	知日時	*
2014/09/16 11:12:22	1		(TS'情報変化[2])音声モード[1] [M→3/2]			
2014/09/16 11:12:22	1		(TS'情報変化[3])音声モード[1] [M→3/2]			
2014/09/16 11:14:46	1		(TS'情報変化[2])音声モード[1] [M→S]			
2014/09/16 11:14:46	1		(TS'情報変化[3])音声モード[1] [M→S]			
2014/09/16 11:38:45	1		マスク値設定が正常終了しました			
2014/09/16 11:38:56	1	CH1	手動検知停止を行いました			
2014/09/16 11:38:58	1	CH1	手動検知開始しました			
2014/09/16 11:39:00	1	CH1	ビデオフレームレート比較 不一致	1 20	14/09/16 11:39:00	
2014/09/16 11:39:00	1	CH1	字幕有無比較 不一致	1 20	14/09/16 11:39:00	
2014/09/16 11:39:06	1	CH1	手動検知停止を行いました			
2014/09/16 11:39:08	1	CH1	手動検知開始しました			
2014/09/16 11:39:09	1	CH1	ビデオフレームレート比較 不一致	1 20	14/09/16 11:39:09	
2014/09/16 11:39:09	1	CH1	字幕有無比較 不一致	1 20	14/09/16 11:39:09	

ログ更新一時停止中に発生したログはログ更新を再開すると表示されます。

○ 1グ更新→時停止中 ボタンをクリックするとログ更新を再開します。

・右上に「選択中のログ No./現在のログ総数」が表示されます。

・エラーログをダブルクリックすると過去ログ画面が表示されます。

表示される過去ログの間隔については2.2.5「エラーログクリック設定」を参照ください。

過去ログ画面については 2.7「過去ログ表示」を参照ください。

2.2.1 起動時設定

◇ソフトウェア起動時に前回設定した検知停止状態の復元の有無を設定します。 ◇CLD のヘルスチェック間隔を設定します。

起動時設定
 比較毎検知停止機能 ※メイン画面の比較ボタンを右クリックすることで比較毎にエラー検知を 停止することができます。 図検知停止状態を保存し、システム起動時検知停止状態を復元する
 ヘルスチェック間隔 999 ・ 秒間隔でヘルスチェックを行います
OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「起動時」をクリックします。

(2)設定

①比較毎検知停止機能

チェックを入れることでシステム終了時に検知停止状態を保存し、システムを起動した 際には検知停止状態を復元します。

②ヘルスチェック間隔

- ・設定した間隔で CLD に対するヘルスチェックを行います。
- ・値の範囲は 10~3600 秒です。

(3) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.2 時刻同期設定

◇ 時刻を補正するための時刻取得方法と補正のタイミングを設定します。

時刻同期設定
時刻の取得方法 外部からの時刻をPCIに設定すると共にハードウェアへの設定も行います。
NTPサーバーを使用して時刻合わせを行う NTPサーバーのIPアドレス 192.168.200.200
◎ HTTPを使用して時刻合わせを行う(webサーバーが必要です) WebサーバーのIPアドレス
◎ 外部から時刻を取得しない(PCの時刻をハードウェアに設定します)
時刻合わせの契機
◎ 1日に2回 🛛 🕃 時と 0 🕃 時に合わせます
◎ 毎日 🛛 🕃 時に合わせます
◎ 経過時間 60 凄 分毎に合わせます
今すぐ時刻合わせを行う
OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「時刻同期」をクリックします。

(2)時刻の取得方法

①NTP サーバーを使用

◎ NTPサーバーを使用して時刻合わせを行う にチェックをし、NTP サーバーの IP アドレスを 入力します。

②HTTP サーバーを使用

● HTTPを使用して時刻合わせを行う(webサーバーが必要です)にチェックをし、
 WEB サーバーの IP アドレスを入力します。

③外部から時刻を取得しない

◎ 外部から時刻を取得しない(PCの時刻をハードウェアに設定します) にチェックをします。 この設定をした場合であっても PC と CLD の時刻同期は行います。

(3)時刻補正のタイミング

①日に2回

◎ 1日に2回 🛛 🔋 時と 💷 🖶 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行う

時刻を入力します。

②日に1回

◎毎日 2 🕃 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行う時刻を入力します。

③日に数回

・設定範囲は<1>~<1440>です。

※23:55:00~0:05:00 の間は時刻補正を行いません。

(4)手動時刻合わせ機能

設定されている時刻の取得方法を使用し、手動での時刻合わせを行います。

今すぐ時刻合わせを行うがポタンをクリックします。

(5) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(6)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.3 ログ保存

◇ 発生したログの保存フォルダを設定します。

ログ保存設定	
🔽 อวีชวรานเอริ	保存する
※保存フォルダ(インストールフ	にフルパスを設定しなかった場合、 フォルダ配下に入力したフォルダを作成して保存します。
保存フォルダ	C:¥Program Files¥ALVIX¥CLD¥log 選択
	OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「ログ設定」をクリックします。

(2)設定

①ログをファイルに保存する

チェックを入れることでログをCSV 形式で保存します。

②保存フォルダ設定

- ・CSV ファイルを保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、

直接パスを入力してください。

- ・設定できるパスは200文字までです。
- ※保存時は設定フォルダの配下に"年"フォルダ及び"月"フォルダを自動作成し、 その配下に"ログ_年月日.csv"という形式で保存されます。

(3) 設定の保存と本画面の終了

┛ ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

OK

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.4 | Pアドレス・比較設定

◇CLDのIPアドレス及び比較設定をします。

	🏨 IPアドレス・比較設定		×
(2)	№ IPアドレス	 IP FUZ	
	2		
	3	IPアドレス 10.9.15.208	
	5		
	6		
	7		
	8		
	10		
	11		
	12		
		(5) (6) (7)	
			3

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「IPアドレス・比較設定」を クリックします。

(2)CLD の選択

設定を行なうCLDを選択します。

(3)IP アドレス・比較名称・比較設定画面の切り替え

表示したい設定画面を選択します。

(4)設定画面

(3)で選択された設定画面が表示されます。

(7)設定値の保存

設定

ボタンをクリックします。

(8) 設定の復元

やり直し ボタンをクリックします。

(9)本画面の終了

閉じるボタンをクリックします。

「設定」ボタンをクリックせずに「閉じる」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は 無効となります。 CLD の IP アドレスを設定します。

IPアドレス		
IPアドレス		
	_	

IPアドレス に CLD の IP アドレスを入力してください。

2.2.4.2 比較名称設定

比較チャンネル名及びエラー発生時の音声再生用チャンネル名を設定します。

北較番号	チャンネル名	音声再生用チャンネル名	
1	CH1		
2	CH2		
3	СНЗ		
1	CH4		
5	CH5		
6	CH6		
7	СН7		
3	СН8		

①Ch 名称

エラー確認ボタンに表示されるチャンネル名称を設定します。

②音声再生用 Ch 名称

エラー発生時に再生する音声メッセージを設定します。

· 音声再生 をクリックすることで選択中の音声メッセージが再生されます。

・ 1 をクリックすることで音声テキスト作成時の注意事項が表示されます。

情報	×
1	~ 音声テキスト作成時の注意事項 ~
	 ・ 全角ひらがな、全角カタカナを使用してください。漢字、英数字、半角文字は読めません。 数字は全て全角ひらがなに置き換えてください。 例. 「1」 → 「いち」、 「23」 → 「にじゅうさん」
	 長音や二重母音は、必要に応じて長音記号の「一」を指定してください。 例. 「おんせー」 「きごー」
	 アクセント記号()について 音の高さが「高→低」に変化する部分にアクセント記号をつけると、スムーズな発声になります。
	 ・ 句切記号について 全角句点(、)位置にポーズ(無音区間)が入ります。次の音が高くなります。 半角句点(,)を設定すると、短いポーズが入ります。 半角(;)を設定すると、次のアクセント句が比較的高い音で始まります。 半角(/)を設定すると、通常のアクセント句の句切に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。
	ОК

2.2.4.3 比較設定

各チャンネル毎に比較元とする入力、比較先とする入力を設定します。

比較番号	チャンネル名	比較元種類	比較元SlotNo	比較元ProgramNo	比較先種類	比較先SlotNo	比較先ProgramN
1	CH1	VANC(HD)	1	339	DVB-ASI	1	31768
2	CH2	VANC(HD)	2	0	DVB-ASI	1	2
3	CH3	VANC(HD)	3	218	DVB-ASI	3	3
4	CH4	VANC(HD)	4	4	DVB-ASI	8	4
5	CH5	VANC(HD)	5	5	DVB-ASI	1	5
6	CH6	VANC(HD)	6	6	DVB-ASI	1	6
7	CH7	VANC(HD)	7	7	DVB-ASI	1	7
8	CH8	VANC(HD)	8	8	DVB-ASI	1	8

■ ProgramNoを16進数で表示する にチェックを入れると ProgramNo が 16 進数で表示されます。 チェックを外すと 10 進数で表示されます。

(1)比較元種類



(2)比較元 SlotNo

比較元種類にて VANC(HD)・VANC(SD)を選択した場合は比較元 SlotNo を1~8より 設定します。

(3)比較元 ProgramNo

比較元種類にて DVB-ASI を選択した場合は比較元 ProgramNo を設定します。 設定範囲は 1(16 進数:0001)~36863(16 進数:8FFF)です。

(1)比較先種類



をクリックし、表示されるリストより選択します。

(2)比較先 SlotNo

比較先種類にて VANC(HD)・VANC(SD)を選択した場合は比較先 SlotNo を1~8より 設定します。

(3)比較先 ProgramNo

比較先種類にて DVB-ASI を選択した場合は比較先 ProgramNo を設定します。 設定範囲は 1(16 進数:0001) ~36863(16 進数:8FFF)です。 ◇2.1.4「ログ表示」にて表示されているエラーログをダブルクリックした際に表示される 過去ログ画面の間隔を設定します。

エラーログクリック設定
エラーログをクリックした際に表示される過去ログ画面の間隔を設定します。
エラー発生時刻の前 👔 凄 分~後 6 凄 分
OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「エラーログクリック設定」を クリックします。

(2)表示間隔

- ・表示間隔を前・後共に分単位で設定します。
- ・設定できる範囲は前0~99分、後1~99分です。
- (3) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすると、設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。 ◇エラー発生・回復及び局間情報変化 Trap の送信先 IP アドレスを設定します。

設定すると CLD から Trap 送信先 IP アドレスへ、Trap が送信されるようになります。

Trap送信先設定				
	本体(2	Trap送信先を設定します。		
	No	Trap送信先IPアドレス		
	1	10.9.15.160		
	2			
	3			
	4			
	5			
		OK キャンセル		

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「Trap 送信先設定」を クリックします。

(2) Trap 送信先 IP アドレス

Trap 送信先の IP を設定します。

(3) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすると、設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.7 テキスト読み上げ

◇音声メッセージ読み上げの有無や連続再生の設定を行います。

◇この設定は PC 固有の設定です。

テキスト読み上げ
■ 音声メッセージを読み上げる ■ 映像・音声エラー発生時、確認操作または、エラー回復まで連続再生とする = マト
テキスト/よみあげわ、かぶしきがいしゃ:アクエ'スト/の、アクエ'ストー'ク/をしようしていま'す。 再生
OK キャンセル
音声テキスト作取時の)注意争項 ・ 全角ひらがな、全角力タカナを使用してください。漢字、英数字、半角文字は読めません。 数字は全て全角ひらがなに置き換えてください。 例. 「1」→「いち」、「23」→「にじゅうさん」
・長音や二重母音は、必要に応じて長音記号の「ー」を指定してください。 例、「おんせー」「きごー」
 アクセント記号()について 音の高さが「高→低」に変化する部分にアクセント記号をつけると、スムーズな発声になります。
 ・ 句切記号について 全角句点(、)位置にボーズ(無音区間)が入ります。次の音が高くなります。 半角句点()を設定すると、短いボーズが入ります。 半角()を設定すると、次のアクセント句が比較的高い音で始まります。 半角(/)を設定すると、通常のアクセント句の句切に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。 ※目の目的の目的の目的の目的の目的の目的の目的の目的の目的の目的の目的の目的の目的
※ 本製品は、音声合成ミドルウェアとして株式会社アクエスト社のAquesTalkを使用しています。

(1) 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム通知」カテゴリー内→「テキスト読み上げ」を クリックします。

(2) テキスト読み上げの設定

- ・ 図音声メッセージを読み上げる をチェックすることでエラー発生時に

 2.2.7「VAD アラーム通知設定」にて設定した音声メッセージを読み上げます。
 ・システムエラー発生時は、固定の音声メッセージを読み上げます。
- (3) 連続再生設定

✓映像・音声エラー発生時、確認操作または、エラー回復まで連続再生とするをチェックすることで
 エラー発生時に確認操作またはエラー回復まで連続で音声メッセージを読み上げます。
 ※(2)にて ■音声メッセージを読み上げるのチェックを外すとこの機能は無効となります。

(4) 音声メッセージの作成と再生

テスト内の文章を読み上げます。

再生 ボタンをクリックするとテキストボックス内の文章を1回読み上げます。 ※(2)にて ■音声メッセージを読み上げるのチェックを外すとこの機能は無効となります。

(5)音声テキスト作成時の注意事項

音声メッセージを設定する際の注意事項です。こちらを参考にメッセージを作成します。

(6) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすると、設定を保存し本画面を閉じます。

(7)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。 ◇エラー発生時のアラームログ・アラームログ色・音声メッセージの設定を行います。

🕺 アラーム表現設定					×
【 設定一覧 】 ※	回復時のログは、発生エラ	ーログ中の文言"発生"または、	"異常"を"回復"に置き換える	て表示します。	
エラー名	項目1	項目2	項目3	項目4	
初期化状態	初期化完了	初期化中			
電源ステータス	電源ステータス 正常	電源1異常	電源2異常	電源1,2異常	
FANステータス	FANステータス 正常	FANステータス 異常			
DVB-ASI基盤ステータス	DVB-ASI 基盤あり	DVB-ASI 基盤なし			
EPGデータ更新ステータス	EPGデータ更新なし	EPGデータ更新			
slot1 VANSI基盤ステータス	slot1 基盤あり	slot1 基盤なし			
slot2 VANSI基盤ステータス	slot2 基盤あり	slot2 基盤なし			-
<					P.
名称	項目0	項目1	項目2	項目3	~
初期化状態					
電源ステータス					
FANステータス					
DVB-ASI基盤ステータス					
EPGデータ更新ステータス					
slot1 VANSI基盤ステータス					
slot2 VANSI基盤ステータス					-
<	•				P.
【編集】設定一覧より編集する項	町目をクリックしてください。				
項目名 アラー	ムログ	音声メ	ゥセージ		
初期化完了初期	化完了				
初期化中初期	化中				
※ アラームログ編集セルを右り) 表示色を変更できます	リックすると	更新	やり直し	再生	
				閉じる	

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム通知」カテゴリー内→「アラーム表現設定」を クリックします。

(2)設定

①アラームログの設定

- ・【設定一覧】からエラーの種類を選択します。
- ・【編集】エリアの「アラームログ」にてログを設定します。
- ③アラームログ色の設定
 - ・【設定一覧】からエラーの種類を選択します。
 - ・【編集】エリアのアラームログ編集セルを一度選択してから右クリックし、

色設定(Z)	をクリックすることで以下の画面を表示します。
	「セノリリノリるここで以下の回回されかしより。

色の設定
基本色(B):
作成した色(C):
色の作成(D) >>
OK キャンセル

・設定する色を選択します。

. 色の作成(D) >> そ	モクリックすることで色作成画面を表示し、
任意の色を作成して 色の通	珈(A) をクリックする
ことで作成した色を選択することが出来ま	す。
色の設定	×
基本色(B):	
	 色合い(E): 0 赤(R): 255 鮮やかざ(S): 240 緑(G): 0
色の作成(D)>>	色 純色(O) 明るさ(L): 120 春(U): 0
OK	色の追加(A)

OK をクリックして色を設定します。

④音声メッセージの設定

- ・【設定一覧】からエラーの種類を選択します。
- ・【編集】エリアの「音声メッセージ」にてテキスト読み上げ内容を設定します。

・ 再生 をクリックすることで、 【編集】 エリアで選択中の音声メッセージが

再生されます。

・
をクリックすることで音声テキスト作成時の注意事項が表示されます。

情報	— X —
1	~ 音声テキスト作成時の注意事項 ~
	 ・全角ひらがな、全角カタカナを使用してください。漢字、英数字、半角文字は読 めません。 数字は全て全角ひらがなに置き換えてください。 例. 「1」 → 「いち」、「23」 → 「にじゅうさん」 ・長音や二重母音は、必要に応じて長音記号の「-」を指定してください。 例. 「おんせー」 「きごー」 ・アクセント記号(') について 音の高さが「高→低」に変化する部分にアクセント記号をつけると、スムーズな発 声になります。
	 ・句切記号について 全角句点(、)位置にボーズ(無音区間)が入ります。次の音が高くなります。 半角句点(,)を設定すると、短いボーズが入ります。 半角(;)を設定すると、次のアクセント句が比較的高い音で始まります。 半角(/)を設定すると、通常のアクセント句の句切に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。
	ОК

(3)設定のやり直し

やり直し をクリックすることで設定変更前状態に戻すことが出来ます。

(4)設定の更新

更新 をクリックすることで設定を更新します。

※設定の更新はエラー項目毎に行ってください。

更新ボタンを押さずにエラー項目を移動すると設定内容は更新されません。

(5)本画面の終了

開じる
ボタンをクリックします。本画面を閉じます。

2.2.9 しきい値・マスク値設定

◇ CLD に設定するしきい値とマスク値を編集・設定します。

	しきい・マスク値設定	
(2)	CLD 1 -	
(3)	しきい値設定	Ušt.Yia (4)
		比較1 比較2 比較3 比較4 比較5 比較6 比較7 比較8 その他
		(5)
		比較名称「CH1」
		固定内容: 1125// ▶ ▼ 固定内容: 30/1.001 ▼
		●映像アスペクト 音声モード
		比較方法: 局間情報に従う ▼ 比較方法: 局間情報に従う ▼
		固定内容: 16:9 ▼ 固定内容: 5 ▼
		OK キャンセル 適用
		(7) (8) (6)

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム監視」カテゴリー内→「しきい・マスク値設定」を クリックします。

(2)CLD の選択

設定する CLD を選択します。

(3)しきい値・マスク値設定画面の切り替え

表示したい設定画面を選択します。

(4)設定画面の切り替えタブ

各ボタンをクリックすることで設定画面を切り替えます。

(5)比較名称

表示された設定画面が比較設定の場合、2.2.4.2「比較名称設定」で設定された比較名称が 表示されます。

(6)設定値の保存

適用 ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(7) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(8)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

◇比較毎に局間情報比較の設定をします。

^{比較1}をクリックする事で設定する比較番号を変更できます。

七較名称「CH1」	
司間情報比較	
映像フォーマット	映像フレームレート
比較方法: 固定内容で比較 ▼	比較方法: 局間情報に従う ▼
固定内容: 1125/p 🔹	固定内容: 30/1.001 🔹
映像アスペクト	音声モード
比較方法: 局間情報に従う ▼	比較方法: 局間情報に従う 🔹
固定内容: 16:9 🔻	固定内容: S ▼

①比較方法

比較を行なう方法を選択します。

設定内容は②映像フォーマット・③映像フレームレート・④映像アスペクト・⑤音声モード 共に共通です。



・局間情報に従う

入力された局間情報を用いて比較を行ないます。

・局間情報無時は固定内容に従う

局間情報が有る場合は局間情報を用いて比較を行ない、局間情報が無くなった場合に 「固定内容」を用いて比較を行ないます。

・固定内容で比較

局間情報有無に関わらず「固定内容」で比較します。

②映像フォーマット 固定内容

映像フォーマットの固定内容を設定します。



③映像フレームレート 固定内容

映像フレームレートの固定内容を設定します。



④映像アスペクト 固定内容

映像アスペクトの固定内容を設定します。



⑤音声モード 固定内容

音声モードの固定内容を設定します。



設定可能な音声モードは M、2M、3M、4M、5M、6M、7M、8M、S2S、3S、4S、 3/0、2/1、3/1、2/2、3/2、3/2+LFE(5/1)、S+M、S+D、5.1+S、3.1+S、3/2+S です。 ◇ その他 の項目では slot 毎のラウドネスに関するしきい値を設定します。

slot1 をクリックする事でせっていする slot を変更できます。

slot1 slot2 slot3 slot4	slot5 slot6 slot7 slot8
ショートタームラウドネス	
	音声セント 日田はまれ くそう
	測定方法:
音声レベル低: -50 ▼	固定内容:
測定間隔 ※測定間隔は全slot共通です 5 マ 秒	
シグタームラウドネス	
音声レベル高: -1 ▼	
音声レベル低: -41 ▼	

①ショートタームラウドネス 音声レベル高
 設定されたしきい値以上となった場合、レベル高エラーとします。
 設定値範囲は<-50>~<0>dBです。

②ショートタームラウドネス 音声レベル低 設定されたしきい値以下となった場合、レベル低エラーとします。 設定値範囲は<-50>~<0>dBです。

③ショートタームラウドネス 音声モード:測定方法

ショートタームラウドネスを測定する方法を設定します。



・局間情報に従う

入力された局間情報を用いてショートタームラウドネスを測定します。 ※局間情報が無くなった場合は「固定内容」を用いて測定します。

・固定内容で測定 局間情報有無に関わらず「固定内容」を用いて測定します。 ④ショートタームラウドネス 音声モード:固定内容

ショートタームラウドネスを測定する固定内容を設定します。



⑤ショートタームラウドネス 測定間隔 ショートタームラウドネスを測定する間隔を設定します。 設定値範囲は<3>~<10>秒です。 ※この設定は全 Slot 共通です。

⑥ロングタームラウドネス 音声レベル高 設定されたしきい値以上となった場合、レベル高エラーとします。 設定値範囲は<-50>~<0>dBです。

⑦ロングタームラウドネス 音声レベル低
 設定されたしきい値以下となった場合、レベル低エラーとします。
 設定値範囲は<-50>~<0>dBです。

2.2.9.3 マスク値設定一比較毎設定

◇ CLD にて発生した比較エラーに対するマスク値を設定します。

- ◇ 比較1 をクリックする事で比較番号を変更できます。
- ◇ マスクとはある特定のエラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を 遅らせ、マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。

◇マスク値の範囲は<0>~<9999>秒です。

<0>秒に設定した場合はエラー通知しません。

マスク値	
比較名称「CH1」	
	うわれます。
設定	
内容	(値(秒))
第1言語 字幕内容比較	1
第1言語 字幕間隔比較	1
比較元 第1言語 字幕データフォーマットエラー	1
比較先 第1言語 字幕データフォーマットエラー	1
男と言語 子希伯卿敬比戦	
11戦/11 第2言語 丁帯チョク/オーマットエノー	
いたまたに、第2首部 1 #3 2 228 3 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
映像フレームレート比較	1
映像アスペクト比較	1
音声モード比較	1
字幕有無比較	1

①第1言語 字幕内容比較

第1言語の字幕内容が比較元・比較先で異なった際のマスク値です。

②第1言語 字幕間隔比較

第1言語の字幕間隔が比較元・比較先で異なった際のマスク値です。

- ③比較元 第1言語 字幕データフォーマットエラー 比較元に入力された第1言語の字幕データフォーマットが異常になった際のマスク値です。
- ④比較先 第1言語 字幕データフォーマットエラー

比較先に入力された第1言語の字幕データフォーマットが異常になった際のマスク値です。 ⑤第2言語 字幕内容比較

第2言語の字幕内容が比較元・比較先で異なった際のマスク値です。

⑥第2言語 字幕間隔比較

第2言語の字幕間隔が比較元・比較先で異なった際のマスク値です。

⑦比較元 第2言語 字幕データフォーマットエラー

比較元に入力された第2言語の字幕データフォーマットが際のマスク値です。

⑧比較先 第2言語 字幕データフォーマットエラー 比較先に入力された第2言語の字幕データフォーマットが際のマスク値です。

⑨映像フォーマット比較

局間情報の映像フォーマットが比較元・比較先で異なった際のマスク値です。

- ⑩映像フレームレート比較局間情報の映像フレームレートが比較元・比較先で異なった際のマスク値です。
- ①音声モード比較

局間情報の音声モードが比較元・比較先で異なった際のマスク値です。

12字幕有無比較

局間情報の字幕有無が比較元・比較先で異なった際のマスク値です。

2.2.9.1 マスク値設定一 ラウドネス設定

◇ CLD にて発生したラウドネスエラーに対するマスク値を設定します。

◇ ラウドネス をクリックする事で設定画面が表示されます。

◇ マスクとはある特定のエラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を 遅らせ、マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。 ◇マスク値の範囲は<0>~<9999>秒です。

<0>秒に設定した場合はエラー通知しません。

出較1 比較2 比較3 比較4 比	車交5 比車交6	比較7 比較8 ラウドネス	
「0」で通知しない、「1~9999」で設定秒数のマス	クが行われます。		
定			
内容	(他)	_ ^	
slot1 第1音声 ショートタームラウドネス	0		
slot1 第2音声(ショートタームラウドネス	0		
slot2 第1音声 ショートタームラウドネス	0		
slot2 第2音声(ショートタームラウドネス)	0		
slot3 第1音声 ショートタームラウドネス	0		
slot3 第2音声(ショートタームラウドネス)	0		
slot4 第1音声 ショートタームラウドネス	0		
slot4 第2音声 ショートタームラウドネス	0		
slot5 第1音声 ショートタームラウドネス	0		
slot5 第2音声 ショートタームラウドネス	0		
slot6 第1音声 ショートタームラウドネス	0		
slot6 第2音声 ショートタームラウドネス	0		
slot7 第1音声 ショートタームラウドネス	0		
slot7 第2音声 ショートタームラウドネス	0		
slot8 第1音声 ショートタームラウドネス	0		

①Slot1~8 第1言語 ショートタームラウドネス

第1言語のショートタームラウドネスがエラーになった際のマスク値です。 エラーには無音・レベル低・レベル高・無しがあります。

②Slot1~8 第2言語 ショートタームラウドネス
 第2言語のショートタームラウドネスがエラーになった際のマスク値です。
 エラーには無音・レベル低・レベル高・無しがあります。

③Slot1~8 第1言語 ロングタームラウドネス
 第1言語のロングタームラウドネスがエラーになった際のマスク値です。
 エラーには無音・レベル低・レベル高・無しがあります。

④Slot1~8 第2言語 ロングタームラウドネス
 第2言語のロングタームラウドネスがエラーになった際のマスク値です。
 エラーには無音・レベル低・レベル高・無しがあります。

2.2.10 音声モード比較除外設定

◇音声モード比較にて比較元・比較先で音声モードが異なっている場合においても

正常と判断する組み合わせを設定します。

◇比較元の音声モードに対して正常と判断する比較先の音声モードを最大3パターン設定する ことが出来ます。

音声モー	ド比較除外設:	定	(3)		x
	(2)				
		J LE#XCH	CHI		
ニエラー隊	於項目				
音声モ	ードが異なって(いても、正常とす	べき音声モードノ	《ターンを設定します	t.
設定さ	れたパターンとー	・致する場合、異	なった音声モー	ドでもアラームとなり	ません。
(4)	比較元	設定1	設定2	設定3	1
	1				
	2M				\
	3M				
	4M				
	5M				
	6M				
	7M				
	8M				
	S				
	2S				
	3S				
	4S				
	3/0				
	2/1				
	3/1				
	2/2				
	3/2				
	3/2+LFE				
	S+M				
	S+D				
	5.1+S				
	3/1+S				
	3/2+S				
		_			
			OK ¥	i vyten i	意用
			6)	(7) (5)

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム監視」カテゴリー内→「音声モード比較除外設定」を クリックします。

(2)CLD の選択

設定する CLD を選択します。

(3)比較 CH の選択

設定する比較 CH を選択します。

(4)比較除外設定

比較除外する比較先音声モードを設定します。

比較元	設定1 [設定	設定するセルをクロックレ 表示されるロフトより
М		-	
2M			選択します。
3M	M		設定可能な音声モードは M、2M、3M、4M、5M、
4M	3M	L	CM 7M OM COC OC 4C 0/0 0/1 0/1
5M	4M		0101, 1101, 0101, 525, 35, 45, 5/0, 2/1, 3/1,
6M	5M		2/2, 3/2, 3/2+LFE(5/1), S+M, S+D, 5.1+S,
			3.1+S、3/2+S です。

(5)設定値の保存

適用 _____

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(6) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(7)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.3.1 ログ検索

◇条件を指定してログを検索します。

ログ検索
※ 検索条件設定はAND条件となります ■ CLD指定
1
 □ 比較番号指定 □ 比較1
□ 發生日時指定
開始 2014/09/16 ● 16:28:46 ●
₩ 7 2014/09/17 16:28:46 🚖
□ キーワード(内容)指定
□ ログ種別指定
□ イベントログ
- エラーログ
アラーム種別
エラー項目
検索開始キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「ログ検索」を クリックします。

(2)検索条件の設定

検索条件設定は AND 条件であり、選択した条件を全て満たしたログのみ表示します。

①CLD 指定

検索する CLD を選択します。

・比較番号指定

検索する比較番号を選択します。

②発生日時指定

検索範囲の日時を FromTo 指定します。

③キーワード内容指定

ログ(アラーム)をキーワード検索する時に指定します。

④ログ種別指定

特定のログを検索する時に選択します。

"検索ログ"でロガーサーバーに関するログを指定した場合はグレー表示となります。

・イベントログ

システムログ・局間情報変化・ラウドネス計測結果を検索する際にチェックします。

- ・エラーログ
 - エラーログのみを検索する際にチェックします。
 - また、アラーム種別やエラー項目を指定して検索することができます。

アラーム種別を指定すると、エラー項目が選択できるようになります。

アラーム種別の選択

			-
アラーム種別	cmp1 第1言語	字幕内容比較	(-)
	cmp1 第1言語	字幕内容比較	
エラー項目	cmp1 第2言語	字幕内容比較	
	cmp2 第1言語 cmp2 第2言語	字基内容比較	
	cmp3 第1言語	字幕内容比較	
	cmp3 第2言語	字幕内容比較	
	cmp4 第2言語	字基内容比較	· + +-
	Court - Mile B BB		

ここをクリックし、表示されるリストより 選択します。

エラー項目の選択

アラーム種別	cmp1 第1言語 字幕内容比較	•
エラー項目	全項目 全項目 正常 異常	0

アラーム種別を選択することにより、
 ここをクリックするとリストが表示されます。

検索したいエラー項目を選択します。

(3)検索結果の表示と保存

検索開始

🧾 ボタンをクリックすることでログ検索画面が終了し、ログ検索結果画面

が表示されます。

6	ログ検索結果						
	ファイル(Z)						
	ログ日時	CLDNO	CH名称	内容	マスク(秒)	検知日時	
Þ	2014/09/17 16:50:56	0		監視システムを終了します			
	2014/09/17 16:51:10	0		監視システムを起動しました			
	2014/09/17 16:51:11	1		CLD に接続しました			
	2014/09/17 16:51:12	1		時刻設定が正常終了しました			
	2014/09/17 16:51:15	1		しきい値設定が正常終了しました			
	2014/09/17 16:51:18	1		マスク値設定が正常終了しました			
	2014/09/17 16:51:19	1		比較設定が正常終了しました			
	2014/09/17 16:51:19	1		Trap送信先設定が正常終了しました			
	2014/09/17 16:51:20	1	CH1	ビデオフレームレート比較 不一致	1	2014/09/17 16:51:20	
	2014/09/17 16:51:32	1		音声モード比較除外設定設定が正常終了しました			
	2014/09/17 16:51:34	1		初期化完了[10.9.15.208]			
	2014/09/17 16:51:34	1		電源ステータス 正常[10.9.15.208]			
	2014/09/17 16:51:34	1		FANステータス 正常[10.9.15.208]			
	2014/09/17 16:51:34	1		DVB-ASI 基盤あり[10.9.15.208]			
	2014/09/17 16:51:34	1		EPGデータ更新なし[10.9.15.208]			-
1	/ 96						

①結果を csv ファイルに保存

ファイルメニューから表示します。



②過去ログ起動

エラーログをダブルクリックすると、過去ログ画面を表示します。

過去ログ画面については2.7「過去ログ表示」を参照ください。

③ログ検索結果のソート

タイトルをクリックすると、クリックした項目+日時の昇順でソートします。

④ログ件数

左下に「選択中のログ No./ログ総数(最大 50,000 件)」が表示されます。

(4)ログ検索画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

2.3.2 ログ削除

◇ 取得したログデータを全て削除します。

◇ 本機能に画面は存在しません。

・ログの削除

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「ログ削除」を クリックします。

情報	
i	ログを全て削除します。よろしいですか?
	(はい(<u>Y</u>) いいえ(N)

(はい(Y) ボタンをクリックすると、全てのログを削除します。

※ログの削除は、データベース上のデータを削除されるのみで、保存した CSV ファイルは削除しません。

2.3.3 過去ログ時刻指定

◇CLD・比較番号・時刻を指定して過去ログ画面を表示します。
 ◇過去ログ時刻指定画面は表示をさせたまま他のウインドウを操作できます。
 ◇過去ログ画面については 2.7「過去ログ表示」を参照ください。

過去ログ時	刻指定表示			×
表示選拔 CLD	₹ <u>(2)</u> 1 ▼	(3) 比較番号1 (4)	•	
	日付	時刻	\frown	(5)
開始	2014/09/17		÷	
終了	2014/09/17		I	表示

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「状況表示」カテゴリー内→「過去ログ時刻指定」 をクリックします。

(2)CLD の選択

過去ログ表示をする CLD を選択します。

(3)比較番号の選択

過去ログ表示をする比較番号を選択します。

(4)表示範囲の選択

過去ログ表示をする日時を FromTo 指定します。

(5)過去ログ画面表示

表示

をクリックする事で設定した内容の過去ログ画面が表示されます。

(6)過去ログ時刻指定表示画面の終了

× ボタンをクリックします。

2.3.4 ラウドネス計測

◇CLD・比較番号・時刻を指定してラウドネスを計測します。

◇ラウドネス計測画面は表示をさせたまま他のウインドウを操作できます。

ラウドネス計測		(6)	×
計算選択 (<u>2)</u> (3)		計測結果	
CLD 1 V Slot 1 V	(5)	第一音声	dB
計算範囲 (4)			
開始 17:41:07 🚖 終了 17:41:07 🚖	ラウド計測開始	第二音声	dB

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「状況表示」カテゴリー内→「ラウドネス計測」 をクリックします。

(2)CLD の選択

ラウドネス計測をする CLD を選択します。

(3)比較番号の選択

ラウドネス計測をする比較番号を選択します。

(4)計算範囲の選択

ラウドネス計測をする日時を From To 指定します。

(5)ラウドネス計測開始

ラウド計測開始

をクリックする事で設定した内容の過去ログ画面が表示されます。

(6)ラウドネス計測結果

ラウドネスの計測結果が表示されます。

(7)過去ログ時刻指定表示画面の終了

×ボタンをクリックします。

2.4 ハード情報参照

2.4.1 バージョン情報

◇ CLD のバージョン情報を参照します。

バージョン情報	X
確認を行うCLDを選択して下さい。 1 マ	要求実行
項目名称 DVB-ASI FPGA Ver	值
DVB-ASI ファームVer	
slot1 FPGA Ver	
slot1ファームVer	
slot2 FPGA Ver	
slot2 ファームVer	
slot3 FPGA Ver	
slot3 ファームVer	
slot4 FPGA Ver	
slot4 ファームVer	
slot5 FPGA Ver	
slot5 ファームVer	
slot6 FPGA Ver	
slot6 ファームVer	
slot7 FPGA Ver	
slot7 ファームVer	
slot8 FPGA Ver	
slot8 ファームVer	
control FPGA Ver	
control ファームVer	
機器名称	
	 閉じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「バージョン情報」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)バージョンの確認

要求実行 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

2.4.2 状態参照

◇ CLD の状態を参照します。

状態参照			x
確認を行なう項目を選択して下さい。 CLD: 1 ▼ 比較番号: 1 ▼		要求実行	
項目名称	値	内容	1
初期化ステータス			
電源ステータス			
FANステータス			
DVB-ASI基盤ステータス			
EPGデータ更新ステータス			
slot1 VANSI基盤ステータス			
slot1 ショートタームラウドネス 第1音声			
slot1 ショートタームラウドネス 第2音声			
cmp1 字幕比較ステータス			
cmp1 第1言語 字幕内容比較			
cmp1 第2言語 字幕内容比較			
cmp1 第1言語 字幕間隔比較			
cmp1 第2言語 字幕間隔比較			
cmp1 比較元 第1言語 字幕フォーマット			
cmp1 比較元 第2言語 字幕フォーマット			
cmp1 比較先 第1言語 字幕フォーマット			
cmp1 比較先 第2言語 字幕フォーマット			
cmp1ビデオフォーマット比較			
cmp1ビデオフレームレート比較			
cmp1ビデオアスペクト比較			
cmp1オーディオモード比較			
cmp1 字幕有無比較			
		同じ	っ

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内

→「状態参照」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)比較番号の選択

確認したい比較番号を選択します。

(4)状態参照

要求実行 ボタンをクリックします。

(5)本画面の終了

2.4.3 マスク値参照

◇ CLD のマスク値を参照します。

マスク値参照	×
確認を行なう項目を選択して下さい CLD: 1 ▼ 種類: 比較1 ▼	要求実行
項目名称	値
第1言語 字幕内容比較	
第1言語 字幕間隔比較	
比較元 第1言語 字幕データフォーマットエラー	
比較先 第1言語 字幕データフォーマットエラー	
第2言語 字幕内容比較	
第2言語 字幕間隔比較	
比較元 第2言語 字幕データフォーマットエラー	
比較先 第2言語 字幕データフォーマットエラー	
映像フォーマット比較	
映像フレームレート比較	
映像アスペクト比較	
1	
	閉じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「マスク値参照」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)種類の選択

確認したい種類を選択します。

種類は比較1~8・ショートタームラウドネス・ロングタームラウドネスから選択します。

(4)CLD のマスク値参照

要求実行 ボタンをクリックします。

(5)本画面の終了

◇ CLD のしきい値を参照します。

確認を行なう項目を選択して下さい 要求実行 CLD: 種類: 比較1 要求実行 項目名称 値 (mp1 時候 アノームレート (mp1 時候 アノペクト (mp1 苛フォルト映像アノペクト (mp1 苛フォルト映像アノペクト	しきい値参照
確認を行なう項目を選択して下さい 要求実行 CLD: 種類: 比較1 要求実行 項目名称 値 「の口目 映像フラーマット 「の口目 デフォルト映像フラーマット Cmp1 時像フレームレート Cmp1 デフォルト映像フレームレート Cmp1 デフォルト映像フレームレート Cmp1 デフォルト映像フレームレート Cmp1 デフォルト時間 アスペクト Cmp1 デフォルト音声モード Cmp1 デフォルトキ幕有無 Cmp1 デフォルトキ幕有無 Cmp1 デフォルト	
CLD: 種類: 此較1 要求実行 項目名称 値 Cmp1 時後プラーマット 一 Cmp1 時後プラームレート 一 Cmp1 時後アフペクト 一 Cmp1 デフォルト映像プレームレート 一 Cmp1 デフォルト映像プレームレート 一 Cmp1 デフォルト映像プスペクト 一 Cmp1 デフォルト 一 Cmp1 デフォルト 日 Cmp1 デフォー 日 Cmp1 デアフォー 日 <td>確認を行なう項目を選択して下さい</td>	確認を行なう項目を選択して下さい
項目名称 値 Imp1 時後フォーマット 000000000000000000000000000000000000	CLD: 1 ▼ 種類: 比較1 ▼ 要求実行
項目名称 値 cmp1 (mp1 mp1 (mp1 mp1 <	
Cmp1 デフォルト映像フォーマット cmp1 デフォルト映像フスペクト cmp1 デフォルト映像アスペクト cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト宇幕有無	項目名称 值
cmp1 映像フレームレート cmp1 映像アスペクト cmp1 デフォルト映像アスペクト cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト音声電ード cmp1 デフォルト音声電ード cmp1 デフォルト音声電 cmp1 デフォート cmp1 デート cmp1 デフォート	cmp1 映像フォーマット cmp1 デフォルト映像フォーマット
cmp1 デフォルト映像アスペクト cmp1 音声モード cmp1 音声モード cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト宇幕有無	cmp1 映像フレームレート
cmp1 映像アスペクト cmp1 デフォルト映像アスペクト cmp1 音声モード cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト宇幕有無	cmp1 デフォルト映像フレームレート
cmp1 デフォルト音声モード cmp1 字幕 cmp1 デフォルト音声モード cmp1 デフォルト字幕有無	cmp1 映像アスペクト
cmp1 音声モード cmp1 字幕 cmp1 デフォルト字幕有無	cmp1 デフォルト映像アスペクト
cmp1 字幕 cmp1 デフォルト字幕有無	
cmp1 デフォルト字幕有無	
原 23	
用13	
原U3	
原U3	
原U3	
用U る	
原U3	
原U3	
周じる	
用Uる	
ほし ほし し し し し し し し し し し し し し	
同じる	
開じる	
開じる	
開Uる	
開Uる	
開Uる	
開Uる	
開じる	
開じる	
	開Uる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「しきい値参照」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)種類の選択

確認したい種類を選択します。

種類は比較1~8・ショートタームラウドネス・ロングタームラウドネスから選択します。

(4)CLD のしきい値参照

要求実行 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

◇ CLD の測定値を参照します。

1 -	मु	要求実行
		1/+
山田名称		1旦
SIOT 弗 音戸	ショートダームフリト不人1個	
SIOT 弗2百戸	ショードダームフリド不大地 ニカビネスは	
	- フリドホス1回 - ニートドラフ 値	
SIULT 第2百声	シュートなーたち市ドネフ値	
siot2 961日円 slot9 第9空声	ショー・スームフリドや人間 ド海に下なーカニウドセフ値	
slot2 第52日戸 slot9 第1音声	ショーマス ムノンドヤス旭 一ラウドネス値	
slot2 第1日户 slot2 第1日户	ラウドネス値	
slot3 第1音声	- シリートペームラウドネス値 - ジョートタームラウドネス値	
slot3 第7音声	- ショートタームラウドネス値	
slot3 第1音声	ラウドネス値	
slot3 第2音声	ラウドネス値	
slot4 第1音声	- ショートタームラウドネス値	
slot4 第2音声	ショートタームラウドネス値	
slot4 第1音声	ラウドネス値	
slot4 第2音声	ラウドネス値	
slot5 第1音声	ショートタームラウドネス値	
slot5 第2音声	ショートタームラウドネス値	
slot5 第1音声	ラウドネス値	
slot5 第2音声	ラウドネス値	
slot6 第1音声	ショートタームラウドネス値	
slot6 第2音声	ショートタームラウドネス値	
slot6 第1音声	ラウドネス値	
slot6 第2音声	ラウドネス値	
slot7 第1音声	ショートタームラウドネス値	
slot7 第2音声	ショートタームラウドネス値	
slot7 第1音声	ラウドネス値	
slot7 第2音声	ラウドネス値	
slot8 第1音声	ショートタームラウドネス値	
slot8 第2音声	ショートタームラウドネス値	
slot8 第1音声	ラウドネス値	
slot8 第2音声	ラウドネス値	

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「測定値参照」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)CLD の測定値参照

要求実行ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

2.4.6 局間情報

◇ CLD の局間情報を参照します。

t局間情報	TS'情報								
8 1	項目	1	2	3	4	5	6	7	8
力信号形式	ブログラムNo								
間情報有無	有効な映像TS数								
象フォーマット	有効な音声ADTS数								
象フレームレート	字幕有無								
象アスペクト比	映像PID[1]								
事モード	映像フォーマット[1]								
幕有無	映像水平解像度[1]								
	映像垂直解像度[1]								
	映像アスペクト比[1]								
	映像フレームレート[1]								
	映像PID[2]								
	映像フォーマット[2]								
	映像水平解像度[2]								
	映像垂直解像度[2]								
	映像アスペクト比[2]								
	映像フレームレート[2]								
	映像 ノオーマット[3]								
	映像系方紹倫度[0]								
	一座像五百韶使度[4]								
	<u>味味フレームレー(い)</u> 肺像PID[5]								
	<u>映像つチーフット[5]</u>								
	肿像垂直解像度[5]								
	映像PID[6]								
		•			1			1	

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「局間情報」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)Slot/TSの選択

確認したい項目を選択します。 項目はSlot1~8・TS情報から選択します。

(4)局間情報の確認

<u>取得</u> ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

2.4.7 CLD 時刻参照・設定

◇ CLD の時刻参照と時刻設定を行います。

時刻参照・設定
確認を行なうCLDを選択して下さい 1 マ
時刻の確認
確認 CLD
PCB寺刻]
時刻の設定
PCの時刻を設定
閉じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「時刻参照・設定」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認・設定したい CLD を選択します。

(3)時刻参照

確認 ボタンをクリックします。

(4)時刻の設定

PCの時刻を設定 ボタンをクリックすると PC の現在時刻を CLD に設定できます。

(5)本画面の終了

2.4.8 比較設定参照

◇ CLD に設定した比較設定を参照します。

比較設定参照	
確認を行なう項目を選択して下さい CLD: 1 ▼ 種類: 比較1 ▼ 要求実行	
項目名称 値	
比較1 比較元データ種類	
比較1 比較元SlotNo	
比較1 比較元ProgramNo	
比較1 比較先データ種類	
比較1 比較先SlotNo	
比較1 比較先ProgramNo	
閉じる	

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「比較設定参照」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)種類の選択

確認したい比較番号を選択します。

(3)比較設定の確認

要求実行 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

2.4.9 音声モード比較除外設定参照

◇ CLD に設定した音声モード比較除外設定を参照します。

音声モード比較的	余外設定参照	Ę	— X	
確認を行なう項	観を選択し 1	て下さい		
CLD: 1	▼ 種類	頁: 比較1 ▼	要求実行	
	設定1	設定2	設定3	
М				
2M				
3M				
4M				
5M				
6M				
7M				
8M				
S				
2S				
3S				
4S				
3/0				
2/1				
3/1				
2/2				
3/2				
3/2+LFE				
S+M	_			
S+D	_			
5.1+S	_			
3/1+S	_			
3/2+S				
			開いる	
			14100	

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CLD 情報参照」カテゴリー内 →「音声モード比較除外設定参照」をクリックします。

(2)CLD の選択

確認したい CLD を選択します。

(3)種類の選択

確認したい比較番号を選択します。

(3)比較設定の確認

要求実行 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

2.5 EPG 表示

- ◇2.2.4.3「比較設定」にて設定した入力に EPG データが存在する場合は PC 内に自動で EPG データを保存します。
- ◇保存されたEPGはエラー確認ボタンを右クリックすることで表示されるメニューからEPG表示を 選択することで表示されます。
- ◇EPG 表示画面は表示をさせたまま他のウインドウを操作できます。



・選択 CH

EPG を表示する CH を選択します。

・表示日時

指定した日時までリストを移動します。 年は4桁、月日は2桁で入力してください。 時間の変更は出来ません。

・番組リスト

保存された EPG の番組が表示されます。 番組をクリックすると番組放送範囲の過去ログ画面が表示されます。 過去ログ画面については 2.7「過去ログ画面」を参照ください。 【番組色内容】

- ・ : 現在放送中の番組です。エラーが発生しても色は変化しません。
- ・ : エラーが検知されずに放送終了した番組を表しています。
- ・ 🔲 : エラーが検知されて放送終了した番組を表しています。

エラーが発生した番組はマウスを番組上に合わせるとエラー内容がポップアップ表示 されます。



・ ^{現 在} ボタン

現在放送中の番組までリストを移動します。

・ 🔍 🔍 ボタン

番組リストを1日移動します。

・ 🖄 🖄 ボタン

番組リストを一時間移動します。

2.6 リアルタイム字幕

◇2.2.4.3「比較設定」にて設定した入力されている字幕をリアルタイムで表示します。

- ◇エラー確認ボタンを右クリックすることで表示されるメニューからリアルタイム字幕表示を 選択する事で表示されます。
- ◇リアルタイム字幕画面は表示をさせたまま他のウインドウを操作できます。

(編 リアルタイム字幕	
言語 第1言語 ▼	
比較元字幕内容	比較先字幕内容
表示時刻 STS 字幕データ	表示時刻 STS 字幕データ
< >	< >

・言語選択

表示する字幕の第1言語、第2言語を選択します。

言語を変更した場合はそれまで表示されていた字幕内容は消去されます。

・表示時刻

字幕が表示される時刻を表しています。

• STS

字幕の表示形式又は画面消去を表示します。

【表示内容】

CS: 画面消去を表します。字幕データの先頭に画面消去があった場合に表示します。

ルビ:ルビとなる字幕を表しています。小型サイズの字幕をルビと判断しています。

・字幕データ

字幕テキスト又は画面消去パケットのみ取得時や字幕データ取得エラー内容を 表示します。

表示内容は以下の通りになります。

表示種類			表示内容
字幕テキスト受信			-行に1画面単位又は文字色単位で字幕のテキストを表示します。
画面消去パケ	消去パケット 画面消去パケットのみ		「」 画 面 消 去」
画面消去時間有り		画面消去時間有り	【〇秒後に画面消去】
エラー発生	TS パケット落ちエラー		「× × × × パ ケ ッ ト 落 ち エ ラ ー × × × ×」
	PES のサイズエラー(※1)		$\lceil \times \times \times \times \times $ + + + ズ エ ラ - + × × × × × ×
	字幕データのサイズエラー(※2)		「× × × サ イ ズ パ ラ メ ー タ エ ラ ー × × ×」
	字幕データの CRC エラー		$\lceil \times \times \times \times \times \times CRCI \ni - \times \times \times \times \times \times \rfloor$
	DLL 読み出しエラー(※3)		「× × × × D L L 読 み 出 し エ ラ - × × × × 」

※1 PESのPES_packet_length(ISO/IEC 13818)に不整合が生じた場合に発生します。

※2字幕データの各サイズパラメータに不整合が生じた場合に発生します。

※3字幕読込用 DLL 読み出しに失敗した場合に発生します。

2.7 過去ログ画面

◆2.2.4.3「比較設定」にて設定した入力に字幕データが存在する場合は自動で PC 内に字幕データ を保存します。

◇保存されたデータより、エラーが発生時の字幕を比較元・比較先で見比べる事が出来ます。
 ◇過去ログ画面は表示をさせたまま他のウインドウを操作できます。



(1)エラー一覧

表示期間に発生したエラー内容が表示されます。

エラー内容をクリックする事で字幕一覧に発生時刻の字幕ログが表示されます。

①「全て」タブ

全てのエラー内容が表示されます。

②「CH 字幕 比較」 タブ

比較エラーが表示されます。

③「比較元 CH 字幕」タブ

比較元の字幕エラーが表示されます。

④「比較先 CH 字幕」タブ

比較先の字幕エラーが表示されます。

- ⑤「**ラウドネス」タブ** ラウドネスのエラー及びラウドネス計測結果が表示されます。
- ⑥「局間情報比較」タブ

局間情報比較エラーが表示されます。

(2)字幕一覧

表示期間の字幕ログを表示します。

①連動表示設定

字幕リストの移動を以下の設定により他の字幕リストと連動出来ます。

・比較元・比較先の字幕データを連動表示

比較元字幕列と比較先字幕列を時刻で連動します。

・連動表示しない

他の字幕リストの移動を連動しません。

②言語ボタン

字幕リストに表示する言語を設定します。

③字幕内容

・表示時刻

字幕が表示される時刻を表しています。

 \cdot STS

字幕の表示形式又は画面消去を表示します。

エラー発生時は背景色が赤で点灯されマウスをセル上に合わせるとエラー内容が

ポップアップで表示します。

【表示内容】

CS:画面消去を表します。字幕データの先頭に画面消去があった場合に表示します。 ルビ:ルビとなる字幕を表しています。小型サイズの字幕をルビと判断しています。 ・字幕データ

字幕テキスト又は画面消去パケットのみ取得時や字幕データ取得エラー内容を 表示します。

表示内容は以下の通りになります。

表示種類			表示内容
字幕テキスト受信			ー行に1画面単位又は文字色単位で字幕のテキストを表示します。
画面消去パケ	パケット 画面消去パケットのみ		「============================」
	画面消去時間有り		【〇秒後に画面消去】
エラー発生	TS パケット落ちエラー		「× × × × パ ケ ッ ト 落 ち エ ラ - × × × ×」
	PES のサイズエラー(※1)		$\lceil \times \times \times \times \times \times $
	字幕データのサイズエラー(※2)		「× × × サ イ ズ パ ラ メ ー タ エ ラ ー × × ×」
	字幕データの CRC エラー		$\lceil \times \times \times \times \times \times CRCI \neg - \times \times \times \times \times \times \rfloor$

※1 PESのPES_packet_length(ISO/IEC 13818)に不整合が生じた場合に発生します。

※2字幕データの各サイズパラメータに不整合が生じた場合に発生します。

(3) レポート作成ボタン

Report タクリックする事で表示している過去ログのレポートファイルをテキスト形式で

保存します

2.8 ソフトウェアバージョン情報

◇ 監視システムのバージョン情報を表示します。



(1)本画面の起動

スタートボタンより、「ソフトウェアバージョン」をクリックします。

(Contraction of the second se	監視システム
システムの終了(乙)	
	ソフトウェアバージョン

(2)本画面の終了

本画面をクリックします。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品に ついてのアフターサービスは、お買い上 げの販売店におたずねください。 なお、販売店が不明の場合は弊社へお手 数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは
販売店:
TEL 担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

- 新潟県燕市吉田法花堂1974-1
- TEL:0256-93-5035
- FAX:0256-93-5038